

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-24593 (P2003-24593A)
 【公開日】平成 15 年 1 月 28 日 (2003.1.28)
 【出願番号】特願 2001-214248 (P2001-214248)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 5 2 N

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 10 日 (2004.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

賞付与条件の成立に基づき賞遊技媒体を排出可能な賞遊技媒体排出装置と、貸出条件の成立に基づいて貸遊技媒体を排出可能な貸遊技媒体排出装置とを各々別個に備えた遊技機であって、

前記賞遊技媒体排出装置および前記貸遊技媒体排出装置の各々を制御可能な排出制御手段を備え、

前記排出制御手段は、

貸遊技媒体の排出に関わる異常発生の有無を判定する貸遊技媒体異常判定手段と、

賞遊技媒体の排出に関わる異常発生の有無を判定する賞遊技媒体異常判定手段と、

前記賞遊技媒体の排出処理および前記貸遊技媒体の排出処理を不能にする排出不能化制御手段と、を備え、

前記排出不能化制御手段は、

前記貸遊技媒体異常判定手段によって異常発生と判定された場合は、前記賞遊技媒体の排出処理の排出不能化制御は実行せず、前記賞遊技媒体異常判定手段によって異常排出と判定された場合は、前記貸遊技媒体の排出処理の排出不能化制御を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記賞遊技媒体排出装置は供給された遊技球を賞球として排出可能な賞球排出装置で構成されると共に、前記貸遊技媒体排出装置は供給された遊技球を貸球として排出可能な貸球排出装置で構成され、

前記貸球排出装置は、1 条に形成された球供給流路の下流側に配設され、貸球を 1 条で排出可能に構成され、

前記賞球排出装置は、2 条に形成された球供給流路の下流側に配設され、賞球を 2 条で排出可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記排出制御手段は、前記賞付与条件の成立に基づいて排出すべき賞遊技媒体数を累積的に記憶する記憶手段を備え、

前記記憶手段に記憶されている賞遊技媒体数を報知可能な記憶報知手段を当該遊技機の前

面側に配設したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

貸遊技媒体異常判定手段で判定された異常発生と、賞遊技媒体異常判定手段で判定された異常発生とを識別可能に報知する異常報知手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記排出不能化制御手段は、

前記賞遊技媒体異常判定手段によって異常発生が判定された場合において、前記貸遊技媒体の排出処理の排出不能化制御を行う場合に、当該遊技機における可変表示装置に大当たり図柄が表示されて変動入賞装置が開状態に変換される特定遊技状態の発生に基づき、前記貸遊技媒体の排出処理の排出不能化制御を保留するようにしたことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

前記排出不能化制御手段は、前記賞遊技媒体異常判定手段によって異常発生が判定された場合において、前記貸遊技媒体の排出処理の排出不能化制御を行う場合に、当該遊技機における可変表示装置に大当たり図柄が表示されて変動入賞装置が開状態に変換される特定遊技状態の発生に基づき、前記貸遊技媒体の排出処理の排出不能化制御を保留するようにしてもよい。なお、特定遊技状態とは、第 1 種のパチンコ遊技機においては、特別図柄表示装置に大当たり図柄が表示されて変動入賞装置が開状態に変換された状態をいい、第 3 種のパチンコ遊技機においては、可変表示装置に大当たり図柄が表示されて権利発生装置の可動部材が開状態に変換された状態をいう。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、賞球排出ユニット 200 と貸球排出ユニット 300 とは、個別の単体ユニットとして構成され、図示しない取付ベース（裏機構盤の中央開口部の側方に形成）にそれぞれ着脱自在に取り付けられている。これにより、故障等により球の排出に異常が発生した場合に、異常が発生したユニットのみを取り外して修理や交換等を行うことができ、メンテナンス作業を容易かつ低コストで行うことができる。